

平成21年度 シラバス	学年・期間・区分	5年次・通年・必修
	対象学科・専攻	電気電子工学科
卒業研究 (Graduation Research)	担当教員	電気電子工学科全教員
	教員室	電気電子工学科棟ほか
	E-Mail	
教育形態 / 単位の種別 / 単位数	実験・実習 / 履修単位 / 8単位	
週あたりの学習時間と回数	前期：授業(200分)×15回 + 後期：授業(600分)×15回	
〔本科目の目標〕 電気電子工学系に関する各テーマについての研究に取り組み、研究過程を経験することによって、諸問題を解決する能力を養い、技術者・研究者としての素養を身につける。また、研究成果を卒業研究発表会等で講演し、報告書にまとめることによって、プレゼンテーション能力を習得することにも務める。		
〔本科目の位置付け〕 1年次から5年次までの全授業科目が関連する。		
〔学習上の留意点〕 (1)技術者として社会に貢献するという意識と責任感を持って取り組む。 (2)自主的に研究計画を立案し、継続的に研究に取り組む。 (3)研究課題に関する文献を検索し、その内容を理解できるようになる。 (4)研究成果を口頭で発表し、また論文としてまとめる能力を養う。		
〔授業の内容〕		
	研究テーマ / 研究分野	担当教員
	・「中性点クランプインバータ用昇圧チョッパの制御法」 ・「次世代パワー素子SiC-MOSFETの直並列接続技術」	本部
	・「セラミック素子の作製に関する研究」	加治屋
	・「細胞・蛋白質の操作・分析用マイクロデバイスの開発」 ・「走査型プローブ顕微鏡による細胞膜機能・物性の計測」	須田
	・「電力用変圧器の絶縁診断を目指した油中の部分放電放射超音波伝搬特性」	中村
	・「薄膜作製プロセスに関する研究」	奥
	・「固体表面近傍の粒子挙動に関するシミュレーション」	今村
	・「新エネルギーの高効率利用に関する研究」	櫻根
	・「3レベルインバータの中性点電位制御」	逆瀬川
	・「遺伝的プログラミングにおける螺旋交叉の研究」	前園
〔教科書〕、〔参考書・補助教材〕 各担当教員から別途指示がある。		
〔成績評価の基準〕 研究に取り組む姿勢等に対して担当教員が下した評価(60%)と、発表や論文の内容に対する電気電子工学科全教員の評価(40%)によって総合的に評価する。		
〔本科(準学士課程)の学習教育目標との関連〕 1-b, 2-a, 3-b, 3-d 〔教育プログラムの学習・教育目標との関連〕 2-2, 3-2, 3-3 〔JABEEとの関連〕 (c), (d)(2b), (g), (h)		